

④【新潟県立津川病院】

住 所	〒959－4402 新潟県東蒲原郡阿賀町津川200		病床数：67床
診 療 科 目	内科・心療内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・泌尿器科・神経内科・リハビリテーション科・麻酔科		
研修責任者名	原 勝人（院長）	連絡先：tug-keiei@sage.ocn.ne.jp 0254－92－3311（代表）	連絡先担当者名：角田 直之（経営課）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：4人、24年度：5人、25年度：4人、26年度：2人、27年度：1人、28年度：2人、29年度：1人、30年度：2人、令和元年度：1人、2年度：2人 ・その他プログラム採用 平成23年度：18人、24年度：19人、25年度：17人、26年度：17人、27年度：19人、28年度：12人、29年度：11人、30年度：13人、令和元年度：12人、2年度：15人		
研修受け入れ可能診療科		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：地域医療		総合内科専門医 1人、日本アレルギー学会専門医 1人、産業医 1人	日本プライマリケア指導医 1人
施設の概説・特徴			
阿賀町は新潟県の最も福島県境に位置し、佐渡より広大な中山間地に人口1万2千人が住む超高齢社会です。この日本の未来を先取りする地域医療の中には、実に手ごたえのある仕事があふれています。在宅生活を支えるための病院医療とは何か。集める医療と出向く医療とは何か。生活機能を維持するために医師ができることは何か。住民の願いは何か・・・このような疑問の解決をいろいろな角度から試みている小粒でピリリとからい病院です。あなたもこの研修を通して、プライマリ・ケアという漠然とした概念をいろいろなツールで経験してみませんか？それは専門分化された高度医療の中から、あなたのすすむべき最もふさわしい道を見つけ出す一助となるでしょう。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
地域医療：なんといってもまずひとりで考えて医療を実践する楽しみを味わっていただくことでしょう。外来診療は上級医と看護師とクラークが常にバックアップしています。そして救急患者入院の際は上級医とペアで主治医になり、すべての指示をまず自分の手で行っていただきます。入院指示からインフォームドコンセントからコメディカルへの指示、そして患者とその家族およびそれらを取りまく福祉／保健関係者との連携から退院までの場面を1つ2つ主体的に実践していただきます。医療安全対策は万全ですのでご安心を。 阿賀町診療所研修における無医地区への巡回診療（へき地診療）と訪問診療は実に面白くて魅力的です。またナイトスクールで住民の前で行う紙芝居など地域密着型夜の院外研修も山積で、あなたを飽きさせません。			
研修医の当直			
上級医との二人体制ですべての救急症例の初期対応を行います。また救急転送を通して高度専門病院への搬送の判断やタイミングを経験し、さらに患者さん（家族）の心のケアも実践していただきます。なお田舎といえども医療に対する目は厳しいものです。当院では院外拘束医やコメディカル（検査科、放射線科など）が迅速な対応を行っておりますのでご安心ください。おそらくプライマリーケア（一次救急）の面白さと難しさを実感していただけるのではないのでしょうか。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）350,000円、2年次（月額基本給）400,000円（諸手当）実績に基づいて支給。 通勤手当：交通用具使用44,100円上限、 時間外手当：2,570円／1h（2年次研修医単価）、 当直手当：21,000円／1回（2年次研修医単価） ●食事：お昼は売店やお弁当など ●宿舍：当院で職員宿舍の一室を提供。宿舍管理規程に基づき宿舍貸付料は免除。各種設備は当院で負担。使用した光熱水費等は研修医本人が負担。 ●居室：みんなで医局です。椅子と机はカーテンで一人一人仕切られています。 ●図書・文献：医学中央雑誌 Web、PubMed などです。 ●インターネット環境：院内 LAN を通してインターネットへの接続可能です。			